

梅雨に入り、蒸し暑い日が多くなってきましたが、南高生の皆さんは元気に過ごしていますか。

最近の図書室は、本を借りる生徒・本を読みに来る生徒でとても賑わっています。図書室では、毎月新しい本を蔵書していますので、ぜひ様々な本を読んでみてくださいね。みなさまのご来館をお待ちしております！



【図書委員オススメの本】

「カゲロウデイズ」じん（自然の敵P）（エンターブレイン）

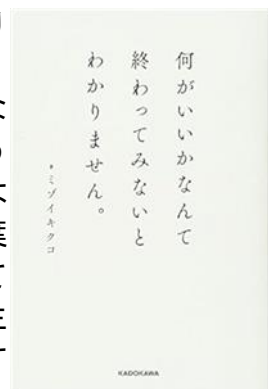
私が夏に読んでほしいおすすめの本は、カゲロウデイズという本です。この本は、8月14日から物語が始まる、まさに夏が舞台の小説です。1巻は、如月シンタローという男の子視点で進んでいきます。シンタローは引きこもりニートの高校生。ある日、パソコンに住みついているAIの様な存在、エネのいたずらにびっくりした時に、パソコンにジュースをこぼしてしまう。仕方なくデパートに代わりのものを買いに行くと、デパートがテロリスト達によって占拠されてしまう。何とかテロリスト達は拘束されたが、シンタローはテロリストの銃で撃たれて気絶してしまい、次に目を覚ますと、謎の組織、メカクシ団のアジトだった。というあらすじの物語です。ちなみに、カゲロウデイズは異能力や、タイムリープが出てくるわくわくする作品ですが、1巻では、ほんの少ししか要素が出てこないなので、ぜひ、全巻読んでみてください。



（担当：青野）

「何がいいかなんて終わってみたいとわかりません。」ミゾイキクコ（KADOKAWA）

私のおすすめの本は「何がいいかなんて終わってみたいとわかりません。」という本です。私はまずこの題名に目を引かれました。私はいつも選択を迷ってしまう時、結局終わってみたいとわからなかったということが多くありました。この本は私に「やってみよう」という気持ちですることの大切さを教えてくれました。この本は名言がたくさん書いてあるお話です。この中で私が一番好きな言葉は自分の人生は自分のもの。自分のために生きるのが当然。そして自分の責任人が何とかしてくれるものではない。です。自分の人生は一度しかなく生き返ることは出来ません。自分のために何かをするということは責任がついてきます。他人のせいではなく自分がしたから自分のせいでもあります。人がなんとかしてくれるとは思わず自分で何とかするという気持ちを大事にしてほしいです。名言が好きな人、哲学が好きな人はぜひ読んでみてください。



（担当：松岡）





【図書館からのお知らせ】

6月9日(月)「高校生のための文化講演会」にて、講師である工藤先生の『働くことの小さな革命 ルポ 日本の「社会的連帯経済」』のサイン本や集英社文庫100冊セット、国語辞典を寄贈していただきました。現在、これらの本を貸し出しができるように作業をしています。夏以降に貸し出しができるようにする予定ですので、皆さん、楽しみに待っていてください！

また、今年度の読書感想文の課題図書「銀河の図書室」「夜の日記」「『コード』のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて」の三冊も、期末考査後までに入荷予定です。こちらもお楽しみに！



【読み聞かせ活動に参加してきました。】

6月12日(木)に、常盤小児童クラブで、図書委員による読み聞かせ活動を行いました。今回は一年生と三年生で参加しました。昨年度以前の読み聞かせ経験者は一人だけでしたが、心を込めて絵本を読むことができました。読書の後は、子供たちと外で元気いっぱい遊びました。次は9月に活動します。

【図書室からのお知らせ】

- ・貸出期間は1週間です。カウンターで申し出れば、延長することもできます。
- ・督促状^{とくそくじょう}が届いた生徒は、速やかに返却してください。本をなくした、破損してしまったなどの場合もすぐに図書室まで申し出てください。
- ・返却の際は必ず当番の生徒に「返」のハンコを押してもらい、本を元の位置に戻してください。



心地よく過ごせる図書館にするために、ご協力お願いします！

